

軸となる取組・活動

※小中一貫教育構想図の実践に向けて、軸となる取組・活動について、つけたい力を明確にした上で、中学校ブロックまたは各学校で取り組む内容を、学年または一定の学年区分ごとに記載してください。(適宜、学年または一定の学年区分ごとに、実線・枠等の記入や点線の消去をしてください。)

義務教育卒業時につけたい力

お互いを認め合い、思いやり、優しさにあふれる態度

【小学校：親切、思いやり、相互理解、寛容】【中学校：思いやり、感謝、相互理解、寛容】

主体的に活動する態度

【小学校：希望と勇気、努力と強い意志】【中学校：希望と勇気、克己と強い意志】

地域を大切にする態度

【小学校：伝統と文化の尊重、国や郷土を愛する態度】【中学校：伝統と文化の尊重、国や郷土を愛する態度】

学年または学年区分ごとにめざす姿		自ら考え、友達と協力し合い、互いに高め合える子	主体的に行動し、互いに高め合っているながら、最後までやりきることのできる子	最高学年として自覚と責任をもって、主体的に行動し、互いにつながり高め合える子	挨拶ができる、ルールを守り、主体的に学習できる思いやりのある生徒	ルールを守り、授業をクラスでつくりあげ、お互いを認め合う生徒	主体的に自分の進路を切り拓き、様々な立場で大原野地域を担う生徒
友だちを大切にし、進んでながよく遊ぶ子	進んで考え、友だちを大切にする子	自ら考え行動し、友達と協力して頑張れる子					
小1（1年）	小2（2年）	小3（3年）	小4（4年）	小5（5年）	小6（6年）	中1（7年）	中2（8年）
中3（9年）							

取組・活動 <大原野小学校の取組>

■道徳の時間

- 模擬授業、事前授業で指導過程・発問を練る
- 挿絵や写真、動画等の効果的な活用
- 役割演技や心のバロメーター・心レベルなど、価値について話し合うための手立ての工夫
- 自分の考えをまとめ、深めるとともに、ふりかえりや自己評価ができるワークシートの工夫
- 自作教材の開発

■他の教育活動と道徳教育との関連

- 別葉を作成し、他教科や行事との関連を整理する
- 友だちの良いところを見つけ、星型カードに書いて掲示する「きらきら見つけ」を全校で実施
- 全学級の「きらきら見つけ」を全校児童や保護者のよく通る場所に掲示する「きらきらロード」
- 人権教育と関連して、3校合同の「人権標語」に取り組み、人権を大切にしようとする態度を育てる

<上里小学校の取組>

■道徳の時間

- 道徳公開授業（若手研修）、事後研修
- 挿絵、写真、動画等の効果的な活用
- 学びを深める板書の工夫
- 役割演技、児童ネームプレートの有効的な活用
- 「意見をつなげる」ことを意識した授業展開
- 自己評価、ふりかえり（ワークシート）

■他の教育活動と道徳教育との関連

- 別葉の作成、行事等と関連した道徳の授業
- 三校合同人権標語
- 全校人権集会に関する取組

基本的生活習慣、社会生活上のきまりを身につけ、正しく行動しようとする態度を育てる。	約束や社会のきまりを守り、みんなで協力し合う態度を育てる。	法やきまりを守り、相手の立場を理解し支え合う態度を育てる。	基本的な生活習慣を身につけ、集団の一員としての役割と責任を自覚し、自分で考え・行動することのできる生徒の育成を目指す。 他者を思いやることができ、尊重・理解しようとする生徒の育成を目指す。
---	-------------------------------	-------------------------------	---

道徳教育を軸とした取組・活動

児童会・生徒会活動を軸とした取組・活動

義務教育卒業時につけたい力

- ・学校集団の一員としての自覚を高め、自主的・社会的な生活態度を身につけ、共に力を合わせて活動する。
- ・縦割りによる集団活動を通して、協力し、互いに認め合う。
- ・地域貢献活動に積極的に取り組み、地域で活躍する。

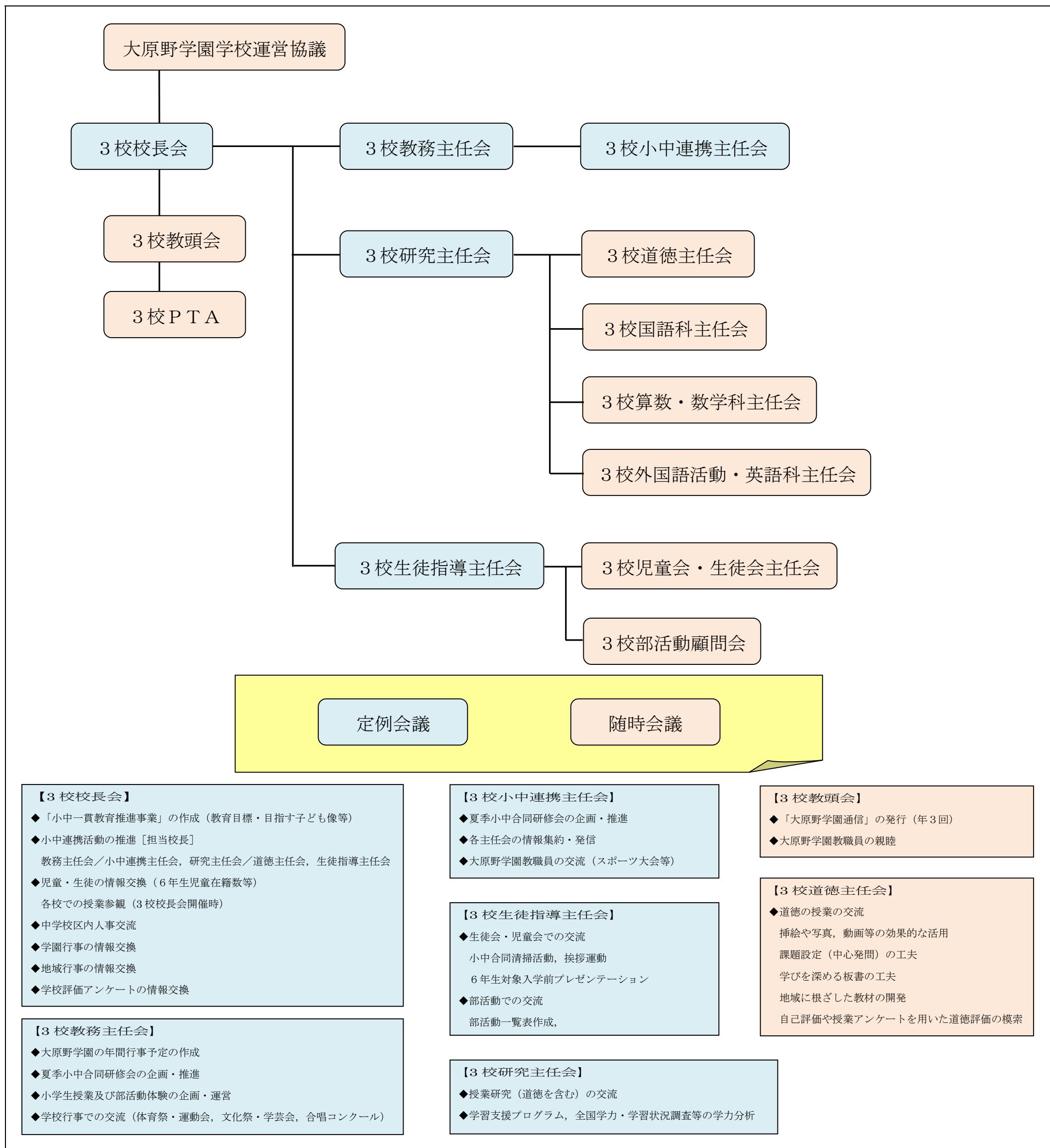
学年または学年区分ごとにめざす姿				・自発的・自治的に学校生活に関する諸問題を話し合い、その解決を図る子 ・児童主体で異学年交流・縦割りの活動内容が計画できる子		・各委員会との連携、協力をはかり、生徒会活動を活発にする生徒 ・ボランティア活動を推進する生徒				
小1（1年）	小2（2年）	小3（3年）	小4（4年）	小5（5年）	小6（6年）	中1（7年）	中2（8年）	中3（9年）		
取組・活動 <大原野小学校の取組>							<大原野中学校の取組>			
○1年生を迎える会 ○運動会【スローガン決定・始め終わりのあいさつ・司会】 ○6年生を送る会 ○児童会の目標決め ○児童朝会【委員会で1回ずつ担当】 ○たて割り活動【つながりタイム：月1回第3木曜日】[異学年交流：1-6, 2-4, 3-5] ○募金【アルミ缶集め】 ○あいさつ運動							○新入生を迎える会（4月） ○生徒総会（6月） ○地域清掃活動（6月） ○リーダー研修会（8月） ○プルタブ・エコキヤップ報告（9月） ○生徒会選挙（11月） ○3年生を送る会（3月） ○生活確立運動 ○挨拶運動 ○リサイクル活動			
<上里小学校の取組>										
○1年生を迎える会（1H） ○運動会【スローガン決定・始め終わりのあいさつ・司会】 ○6年生を送る会 ○児童朝会（毎月1回）, ○たてわり交流会 ○全校オリエンテーリング ○ハローウィーク（あいさつ運動）										
<中学校ブロックとしての取組>										
○大原野中学生徒会と各小学校児童と校区の地域清掃 ○大原野中学生徒会が各小学校へ出向き、6年生を対象に学校紹介										

学びの約束・ルール

項目	小1（1年）	小2（2年）	小3（3年）	小4（4年）	小5（5年）	小6（6年）	中1（7年）	中2（8年）	中3（9年）
話し方	「相手に伝わるように工夫しよう」という気持ちを大事にする <話す内容の順序> ①いつ ②どこで ③だれが ④何を ⑤どうした ⑥どうだった ・声の大きさと速さに気をつけて話す ・聞き手を見て話す	・ていねいな言葉づかいで話す 「～です」「～ます」 「～だと思います」	・すじ道を立てて話す 「まず」「それから」 「だから」「そのわけは」	「生徒同士による協働的な学び（グループ学習）」を導入する。 【言語活動力向上実践計画】 ◆辞書の積極的活用、文章や言葉で表現する機会の設定し、自分で使いこなせる語彙を増やし、表現力を養う。					
聞き方	「相手のことをたくさん知りたい」という気持ちを大事にする ・話している人の方を見て聞く	・自分の考えと同じところ・ちがうところを考えながら聞く ・話の中心に気をつけて聞く	・大事なことをメモしながら聞く ・質問をしたり感想（さん成・反対）を言ったりしながら聞く	◆教科書の内容に即して、語句の意味を理解する力、文章の内容を読みとる力をつける。 ◆グループ学習やスピーチ、作文などを通して言語活動の充実を図る。 ◆作文や習字など、各種コンクールに積極的に参加する。					
発表のルール	 最初の発表 わたしは、～だと思います。 そのりゆうは、・・・だからです。	 同じ意見の発表 わたしは、○○さんと同じで、 ～だと思います。	 追加・補足の意見の発表 わたしは、○○さんにつけたして、 ～だと思います。 そのりゆうは、・・・だからです。	 異なる意見の発表 わたしは、○○さんとはちがって、 ～だと思います。 そのりゆうは、・・・だからです。	【グループ学習の意義・必要性】 ◇課題解決達成のための方法（手順・手法）等の情報を交換しながら共有できる（情報交換の場） ◇課題解決に向かってグループ内相互に啓発・奨励しながら学習できる（啓発・奨励の場） ◇グループ内での相互作用によって学習の継続が促進される（継続促進の場） ◇学習の成果を相互に承認することができる（相互承認の場） ◇学習の仲間意識が生まれ、居場所が確保され、所属の欲求が満たされる（所属の場） ◇学習の成果を仲間とともに自己表現できる（自己実現の場）				

小中一貫教育推進体制

※様式自由。小中合同の校務分掌の部会等、小中一貫教育を推進する体制を記載してください。



家庭・地域との連携・協力に向けた取組

※様式自由。学校だより・HPによる取組の周知や、学校評価アンケート項目の統一など、家庭・地域との連携・協力に向けた取組について、記載してください。

- 年度当初に、大原野学園の年間行事予定表を作成・配布する。
- 年3回、「学園だより」を保護者・地域に発行し、大原野学園の活動・取組を発信する。
- △「学校評価アンケート」における統一項目を検討・実施し、その結果を分析する。
- △各校の学校運営協議会を3校で統一し、大原野学園の学校運営協議会として発足させる。

※ ○→H28年度より実施 △→H29年度以降に計画